

大泉町教育委員会協議会議録

1 日 時 平成30年12月26日（水）午前10時00分から午前11時20分まで

2 出席者

國井教育長、高倉委員、福田委員、秩父委員、大塚委員

3 出席職員

持田教育管理課長、中本教育指導課長、岩瀬こども課長、関本生涯学習課長、
齊藤書記

4 傍聴人

なし

5 議事、協議及び報告事項

- ・平成31年度教育行政方針について
- ・12月定例議会について

6 議事内容

國井教育長 これから教育委員会議を開催いたします。

日程第1 前回会議録の承認について

事前に配布させていただきました、会議録について何かご意見等ございますでしょうか。

（意見なしの声）

ないようでしたら、今回は秩父委員さんと大塚委員さんに会議終了後、ご署名をお願いいたします。

続きまして、日程第2 協議事項（1）平成31年度教育行政方針について資料の全体的な説明を持田課長より、そのあと各課長よりそれぞれの所管について説明をお願いします。

持田課長 平成31年度の教育行政方針は、その内容構成を一から見直すことから、まずは方針に記載すべき、施策や項目などを表にまとめたものです。

今日の検討を経て、以後は冊子として作り込んでいきます。

それでは、資料の1ページをご覧ください。まず、表の概要を説明をいたします。

一番左の列は教育大綱の基本目標です。教育大綱の基本目標を踏まえ、具体的な取組、施策を教育行政方針で策定します。

「施策の重要度」欄は、各分野や所管課で重点的に取り組む施策について重と記載しております。

「具体的な施策」欄については、基本目標を達成するための具体的な施策・

事業を、「目標・目的など」欄は、具体的な施策の目標・目的を記載しております。

「31年度の実施・取組内容」はわかりやすいように箇条書きで記載しております。

「指標」欄については、取組内容に対する目標値を、若しくは間接的な目標値を記載しております。

右側には、今後策定する点検評価報告書に記載する項目も参考として載せております。

点検評価報告書については、後に検討しますが、今回策定する教育行政方針の施策を評価してまいりたいと考えております。

それでは、所管ごとに施策の説明をいたします。教育管理課については、1ページの下から2つの施策。「学校施設・設備の整備」と「ICT環境の充実」でございます。

「学校施設・設備の整備」の31年度の実施内容は、個別施設計画の策定、体育館、武道場の照明器具を水銀灯からLEDへ改修、また各小中学校の特別教室に1教室分のエアコンを計画的に増設してまいりたいと考えております。指標については、記載のとおりでございます。

「ICT環境の充実」の実施内容は、西中学校の校舎のLAN整備、小学校コンピュータ教室における情報機器の更新を行います。指標については、記載のとおりでございます。

以上で教育管理課所管の説明とします。

国井教育長

続いて、中本課長。

中本課長

教育指導課につきましては、資料の中程の3教育環境の充実に、具体的な施策を4つ入れさせていただきました。

まず1つ目、重点項目となっております「カリキュラムマネジメントの徹底」でございます。

内容といたしましては、学校評価の結果をもとに解決策の検討を行う。年間指導計画に従い、他教科等との関連を意識し、身につけさせたい力を明確にした授業を実践、とさせていただきます。指標については、記載のとおりでございます。こちらは委員さんから平日頃、期末テストや中間テストと、年間指導計画に差があるということで、記載させていただきました。

続きまして、2つ目「個に応じた教育の推進」でございます。

適応指導教室、スマイル教室と学校によるケース会議を定期的実施。

特別支援学級におけるティーム・ティーチングの充実。

日本語学級担当と学級担任との情報交換の場を設定し、通級する子どもの実態に応じた支援の充実。

いじめ防止活動・いじめの解決に向けての「いじめ防止基本計画」に沿った組織的な取り組みを実施。それぞれ具体的な指標を記載させていただきました。

3つ目の「コミュニケーション能力の育成」では、最近携帯電話等で大き

な問題、また今後の全国学力テストの方向性等が、互いに考えを伝え合う活動へとシフトしてまいりましたので、国語や英語だけでなく、すべての教科の中で考えを伝え合う活動を取り入れ、相手意識をもたせたコミュニケーション能力の向上。伝え合うことの指導に関わる研修会を実施。指標については、全国学力学習状況調査を軸にしていきたいと思います。

4つ目の「指導法の徹底」でございます、教職員の服務に関する研修会を実施。学校ごとに作成しております、「服務確保計画」に基づいた取組と教職員としての基礎的な素養や社会人としての見識を高めるための研修を実施。

「授業参観の視点」を作成し、授業を行う上での基礎基本の徹底を実施し、指標で自己、他者からの評価をしてまいりたいと思います。

国井教育長

岩瀬課長。

岩瀬課長

こども課所管の説明をさせていただきます。

1 ページの上段、1 子育て支援の充実と、2 就学前教育と保育の充実の2 つでございます。

はじめに、「育児支援、育児不安の解消、子育て環境の整備」についてでございますが、子育て中の親子の交流の場、親にとっての学びや情報交換の場、子育ての悩み解消の場を設定する、地域子育て支援センター事業を継続してまいりたいと思います。

また、保護者が傷病や出産等により、乳幼児を一時的に保育できないときの一時預かり保育の、緊急一時保育事業も継続してまいりたいと思います。指標については、記載のとおりでございます。

続きまして、「学童保育の充実」の取組内容は、学童保育及び学習サポートの実施。また、学童保育の開設時間の延長と給食の導入を検討してまいりたいと思います。指標については、記載のとおりでございます。

続きまして、「児童虐待の未然防止及び早期発見・再発防止」の取組内容は、児童虐待の防止のための様々な機会を捉えた啓発活動の実施。要保護児童対策地域協議会や関係機関との連携による継続的な支援や見守りを実施してまいりたいと思います。指標については、記載のとおりでございます。

続きまして、『第二期大泉町子ども・子育て支援事業計画』の策定」でございますが、平成32年度からの5年間の計画ということでございまして、取組内容は、計画策定に必要となるアンケート調査の分析を行いまして、計画に反映させ、策定してまいりたいと思います。指標は記載のとおりでございます。指標については、記載のとおりでございます。

基本目標2の「認定こども園、幼稚園、保育園、小学校による情報交換の推進」の取組内容は、幼稚園、保育園、小学校情報交換会議を実施してまいりたいと思います。指標は記載のとおりでございます。

続きまして、「認定こども園、幼稚園、保育園への補助金等の交付」の取組内容は、施設型給付費の支給や、就園奨励費補助金を交付してまいりたい

と考えております。指標は、記載のとおりでございます。

国井教育長

続いて、関本課長。

関本課長

資料の2ページをお願いします。

まず、基本目標4の生涯学習の推進につきましては、学習意欲、知識技術の活用、読書活動の推進などのキーワードを念頭におきながら、年間の講座、学級、教室を開催してまいります。

また、新たな試みといたしまして、図書館の図書館離れの対策の一環といたしまして、親子参加型の講座を予定しております。

5の青少年育成の推進の具体的な施策、「放課後子ども教室の充実」でございますが、平成29年10月から北小学校の放課後子ども教室が開設され、それに続きまして、東小学校の開設を中心に、西小学校、南小学校の調査研究を並行し、最終的には町全体で開設していきたいと考えております。

また、「携帯端末やインターネットの適正利用についての周知啓発」といたしまして、大塚委員さんからも以前お話のあった、ゲームを含むインターネット問題について、ゲームを題材にした映画を上映していく予定でございます。

6の人権尊重の推進でございますが、今年は人権宣言70周年の節目の年でありました。31年度も、町ぐるみ人権教育推進大会や、人権教育指導者養成講座を開催いたしまして、人権尊重の町としていきたいと考えております。

7のスポーツ・芸術文化の振興でございますが、3大スポーツ事業の開催、その中のレクリエーションスポーツの調査、研究、また外国人の遊びを事業に中で取り上げ、スポーツ推進員の方々に体験していただき、スポレクで実施していきたいと思っております。

「芸術文化の振興」につきましては、2年前からの事業評価を実施し、事業のマンネリ化を防ぐと共に、新たな芸術文化に繋げていければと考えております。

また、文化むら及び社会体育施設の指定管理者審議選定をしてまいりたいと思っております。

8の文化財の保存と活用でございますが、今年度実施いたしました大泉歴史ウォーキング事業が、町民の方々の文化財保護意識の高揚に大変効果がありましたので、内容をさらに充実させていこうと考えております。

また、大泉町間之原遺跡の本調査の実施と記録保存をしっかりと行い、委託整備事業の進捗管理と新規資料の展示公開に繋げていければと思っております。

国井教育長

各課長より、説明いたしました。ご意見等ございますでしょうか。

福田委員

今回の教育行政方針は、文章ではなく、1つの表にまとまっていて、わかりやすく、今の時代に即していてとても良い。また、3の教育環境の充実についても、教育委員の意見が取り入れられていることも良いと思いました。

それぞれの政策についてですが、1の子育て支援の充実から、私は小さい子をイメージしており、成長していくなかで、貧困の度合い、虐待、健康

面、言葉の不安などを個々に対応していく子育てが、大泉町の特徴が出せるのではないかと考えます。個別対応の調査や、外国籍の言葉の壁を克服しながら、きめ細やかに子育てを支援していくことがいいのではないのでしょうか。

学童保育については、適応教室やスマイル教室と連携がとれるようになると更に充実するのではないかと思います。

2の就学前教育と保育の充実では、大泉町の特徴を出すため、例えば園で英語教育を強化することや、外国籍の方の支援をするための情報交換をしながら重点的に取り組んでほしい。

3の教育環境の充実に「カリキュラムマネジメントの徹底」とありますが、非常に大事なことで、基本的に学校教育というのは4つの視点がある。先生の教育、生徒の学力、部活指導、先生の指導として（先生の）多忙の調査を行って、本来の業務である学力向上への業務に集中できるよう、その他の負担が軽減できるようにしたほうがいいのではないのでしょうか。

生徒に対しては、「個に応じた教育の推進」はとても大事なことだと思います。個々の問題に対応できる指導をしてほしい。

大泉町の特徴を教育にどのように反映させていくか、例えば多くの外国籍の方への教育をどのようにしていくのかを根本的に検討していくべきだと思います。

また、2020年からICTやプログラミング教育が導入されます。それらにどう対処していくのか、人材確保や町の特徴を考慮した施策を考えてほしい。まずは、ネット環境、LAN整備から。今後はICT教育が、最大の教育になると思いますので、町でしっかりと取り組んでいってほしいと思います。

4の生涯学習の推進の中の「子ども読書活動の推進」、親子参加型の家族で読書する、新たな視点で読書活動を推進していくことは、いい取組だと思います。

また、生涯学習で大人の外国籍の方への日本語教育のための環境づくりや、地域の方から、指導者の人材確保や発掘をしてもらいたいですし、中高年が生き生きできるような生涯学習の仕組みがほしいと思います。

5の青少年育成の推進につきましては、放課後子ども教室が他と一元化できればもっと良いのではないのでしょうか。

今後はパソコン等に熟知した、セミプロのような人材確保して、問題に対応していかなければならないと思います。

6の人権尊重の推進については、若干マンネリ化しているように感じました。

7のスポーツ・芸術文化の振興については、大泉町独自のスポーツ、文化ができるように考えていってほしいと思います。

8の文化財の保存と活用については、以前、県内で古墳調査を実施していた時には一般の人を活用していたと思います。町でも、例えば町内のお寺

の宝や石仏等を調査し、お宝マップを作成してもいいのではないのでしょうか。ボランティアを活用した文化財の保存と活用を色々考えてほしい。
以上です。

国井教育長 幅広くご指導いただき、即反映できるものについては、各課で再検討したい
と思います。反映できないものについては、今後１年後、５年後、１０年後
を見据えて取り組んでまいりたいと思いますが、そちらでよろしいでしょう
か。

福田委員 それでいいと思います。目先の仕事ではだめなので、目標を持ち、少しずつ
ステップアップさせてほしいです。

国井教育長 他にご意見ございませんでしょうか。

高倉委員 質問をよろしいでしょうか。１の子育て支援の充実、具体的な施策２つ目
にある、学童の給食の導入とはどういうことでしょうか。

岩瀬課長 夏休み等の長期休みに学童に通う子ども達は、昼食用のお弁当を持参して
おりますので、選択式で給食のような物で何か提供できないかを検討中です。

高倉委員 スポーツレクリエーションの中で外国籍の方の遊びを取り入れるとありま
したが、どういう遊びなのでしょう。

関本課長 いくつか調査研究しておりますが、スバル運動公園でされている、ゴムを張
り、その上を飛び跳ねるスナックスレッチという遊びがありまして、スポー
ツレクリエーションで取り入れるため、スポーツ推進員が体験学習できる所
へ行って、体験し、大会で披露していこうと考えております。
今後は外国籍の方にも参加してもらい、子どもから年配の方にも参加して
もらえるようにしていきたいと思っております。

国井教育長 他にございますでしょうか。

秩父委員 ３の教育環境の充実の「ＩＣＴの充実」も重要な施策であってもいいと思
いました。就職の必要条件ではパソコンが使用出来ることは当然となっております。
ＬＡＮの整備はもちろん、タブレット教育の導入についても長期的に
充実させていってほしいと思います。タブレット教育になることで、子ども
達の副教材の重さや持込みを軽減できることや、「カリキュラムマネジメント
の徹底」でも各クラス、学年の授業の進み方の管理や、各学校ごとに教育
委員会でどれだけ差があるかも分かり、授業の統一化が図ることができる。
ハード面が整備できれば、結果的にコストも軽減できると考えます。

本日の上毛新聞にもＬＧＢＴについて掲載があり、人権にも関わることもか
もしれませんが、多目的トイレの整備が多く取り上げられています。建築
業界では、５種類のトイレを計画していて、今後も更衣室等も含めて、色
々とあると思います。

また他の新聞では教員の病欠以外の半分以上がさまざまな要因により、出
勤できない現状があると掲載されておりました。子ども達の教育をする側
の教育者、特に新任から２、３年の教員の指導を強化してほしいと思いま
す。またフォローやケアについても必要かと思えます。

今回の教育行政方針の資料は、とても見やすいので、今後仕上げていく中

で活字が増えていくかと思いますが、表やグラフを取り入れたものが良いと思います。

国井教育長 幅広いご意見をありがとうございました。トイレの問題も新聞報道を受け、今朝の会議でも話し合われました。町も遅れることのないように、研究対応していきたいと思います。他にございますでしょうか。

大塚委員 皆さんからご意見が出ておりますので、私からはあえて教育行政方針にのっていないこととお話させていただきます。

小、中学校が掲げる目標等を追求するあまり、笑顔がなくなっていると感じています。目標を達成することももちろん大事なことです、その課程で楽しく笑顔でできるよう、盛り込んでいただけたらと思います。

また、子ども達の学校教育外の時間、スポーツ省のガイドラインにも示されたように、部活に充てる時間など示されていると思いますが、実際部活外の自主練習が多く行われています。そのため、休養時間が少なくなっているのが現状です。団体スポーツであれば、自主練であっても参加しなければ、技術に差が出てしまい、試合に出場できないなど支障が出てきてしまっています。教育委員会がどう関わっていくかは、難しいことかもしれませんが、ガイドラインに沿って、部活時間内でどう成果を上げていくかを検討していくことも必要かと感じております。

また、子ども達のコミュニケーション能力、特に英語を向上させるために、A L Tの先生の増員を希望します。

図書館の親子参加型も新しい、良い取組だと思いました。昨年の郡の教育委員研修で、三郷市の図書館に行きました。図書館の雰囲気良く、読者が興味を持つような本の紹介をされていました。大泉町でも是非進めてほしいと思います。

また、放課後子ども教室が東小学校で開設とありますが、北小学校同様ではなく、新たな試みをもって東小学校でも開設してほしいです。

スポーツの関係では、子ども達が幅広く触れるために、初級編が合ってもいいと思います。先日、東小学校で聴覚障害の方のラグビーがありました。子どもは観たり、体験することで、やってみようと思うことがあります。スポーツに触れることが大事なことであったので、初級編の講座を開催してほしいです。

国井教育長 ご意見をいただきまして、スポーツにまずは触れてみる、講座や一日体験があってもいいと思いました。

また、東小学校の放課後子ども教室も、全く同様のものでなく、東小学校に合ったものや、すでに実施してみた課題を克服しながら進めていくようになると思います。

A L Tについて、中本課長どうですか。

中本課長 現在、7名のA L Tの先生と委託契約しております。南小学校と東小学校は児童数が多いので、週1回東小から南小へ、また北小から西小に行っております。先進地は別として、近隣では最も多く雇用しております。授業だけで

なく昼休み、放課後などでも活用していきたいと思っております。小学校の英語が教科となり、本格実施が始まりますので、ALTの先生の活用にしっかりと取り組みたいと思います。

部活については、ガイドラインが作成されて1年が経過しておりますので、見直しもしていかなければならないと思います。

大塚委員 ALTの先生はこれ以上増やすことはできないのでしょうか。大泉町の特色を出していくのであれば、必要なことだと思います。

中本課長 今後の検討課題になってくると思います。大泉町に限らず、全国的に需要が高まっております。

福田委員 大泉町のALTの倍増も考えてみていいと思います。

國井教育長 ご意見ありがとうございます。

高倉委員 以前はポルトガル語なども簡単なあいさつを教えてもらっていましたが、現在はどうか。

國井教育長 中本課長

中本課長 以前は総合的な学習のなかで、外国を調べようという学習がありました。

高倉委員 大泉町はさまざまな国の方が住んでいるので、簡単なあいさつ等でいいので日本語助手の先生が教えてもいいと思います。

國井教育長 以前は各学校とも盛んに行われていましたが、現在は少なくなってきておりますし、多国籍化しておりますのでなかなかできいておりませんが、大切なことだと思います。

高倉委員 ガールスカウトでは、世界の国を調べ、発表しております。子ども達の記憶力は凄いのので、大泉町の特色として進めてほしいと思います。

國井教育長 貴重なご意見、それぞれをよく検討して行きたいと思います。

福田委員 今回の教育行政方針を見ますと、全体的に「個々」が共通したキーワードになっていると感じました。改めていいと思いました。

國井教育長 ありがとうございます。個々への仕掛けを大事にしていきたいと思います。それでは、たくさんのご意見をいただきましたので、ご意見を含めながら、基本的にはこの形となりますが、更に検討してまいりたいと思います。

続いて 日程第3 教育長報告の(1) 12月定例議会について、報告させていただきます。

12月11日から13日までの3日間開催され、議案14件、一般質問が7名の議員さんよりありまして、そのうち、6名の方が教育委員会の質問でございました。

それでは3ページをお願いいたします。教育委員会に関連する議案のみ、ご説明いたします。

議案第59号「大泉町児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するための条例について」は、西小学校地区の学童保育室の不足に対応するため、西児童館 第3学童棟を現在建設中であり、西小学校の校舎増築部分に設置いたしたく、条例の整備を行うものでございました。

続いて、議案第62号「指定管理者の指定について(大泉町児童館)」は、

11月26日の教育委員会議においてご説明いたしましたが、条例に基づき、「大泉町児童館」の指定管理者として「社会福祉法人三吉」を指名いたしたく提案いたしました。

次に、議案第63号「平成30年度大泉町一般会計補正予算（第2号）について」ですが、規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1億5034万円を追加し、130億6,111万円といたすものでございました。なお、教育委員会の補正予算につきましては、歳入合計439千円の追加、歳出合計15,361千円の追加であります。以上3議案ともご承認いただきました。

続きまして、一般質問でございますが、資料の5ページをお願いします。

まず、渡邊 明 議員の件名1「LGBT 性的マイノリティの人たちの権利保障について」は、教育現場における LGBT の現状や児童生徒に対する支援策についてのご質問でございました。

教育委員会といたしましては、性的マイノリティとされる児童生徒にとって「良き理解者」となれるよう、教職員の資質向上と支援体制づくりを進めるとともに、学校生活環境の見直しや校則等の柔軟な対応を図って参りたいとお答えいたしました。

次に、堀越 幸広 議員の件名1「保育園の申込み対応について」は、育児休業の延長を目的とした、入園希望者の申込みが他の自治体では発生しており、本来ならば本当に入園させたい希望者が入れなくなるといったことが社会問題化していることを受け、育児休業制度の本来の趣旨から逸脱した入園の申込みをされた場合の町の現状と対応についてのご質問でございました。

本町では、これまでも申請の際の窓口において、詳細に生活状況等の聞き取りを実施し、適正な入園受付を行っており、引き続き保育のニーズのより高い保護者が不利益を被らないよう、対応して参りたいとお答えいたしました。

同じく、件名2「児童生徒の発達段階に応じた防災教育の拡充について」は、小中学校における防災教育の現状と今後の取り組みと課題についてのご質問でございました。

各学校では、防災教育を安全教育の一環として、年間計画に位置付け指導を行っているなどの現状を延べ、発達段階を踏まえ、適切に指導していくためには、教員の指導力を高めていく必要があるといった課題にも触れ、主体的に判断し、行動できる児童生徒の育成に取り組んで参りたいとお答えいたしました。

6ページをお願いいたします。

次に、宮永 万里子 議員の件名1「学力向上の取り組みについて」は、日本語学級や外国籍児童生徒の状況についてのご質問でございました。

日本語学級は、県より特別に配置されている教員と町で雇用している日本語指導助手が連携し指導をしていること、また、一人ひとりの習得状況に

応じ、生活面も含め児童生徒への指導を行っており、その成果として、外国籍児童生徒の高校進学率は高い水準を維持しているとお答えいたしました。

また、学力テストの現状と学力向上対策及び環境整備についてのご質問がございました。

小学校で実施している、全国学力学習状況調査と学力テストの結果と学習指導要領の目標である「生きる力」につながるような学力向上対策を継続して行えるよう支援して参りたいとお答えいたしました。

また、学力向上のための環境整備については、既存の町施設の活用の可能性を探っていききたいと町長が答弁いたしました。

7ページをお願いします。

次に、山口 将 議員の件名1「小中学校の健康に対する町の取り組みについて」は、いわゆる「置き勉」の現状とその推進及び教科書等の電子化について、並びに小中学生の健康に対する取り組みについてのご質問でございました。

「置き勉」については、文部科学省からの通知を踏まえ、既に軽減対策をとっておりますが、今後も主体的に判断できる児童生徒の育成と過度の負担にならない配慮を継続し、また教科書の電子化については、国や他の自治体の動向を注視するとともに、デジタル教科書の無償化についても県に要望して参りたいとお答えいたしました。

小中学生の健康に対する町の取り組みについては、児童生徒が自らの健康について主体的に考え、行動できるよう、子ども達で組織する「学校保健委員会」の活動などを通して、健康増進や体力向上に取り組んでいるとお答えいたしました。

次に、田邊 信雄 議員の件名1「生涯学習の充実について」は、昨年度作成いたしました「ウォーキングマップ」の有効活用と新たな大泉町史誌の編纂について、並びの学校給食費の一部無料化についてのご質問でございました。

今年度新たに実施いたしました「歴史ウォーキング事業」を検証し、「大泉かるた」の一層の周知を行い、「ウォーキングマップ」の有効活用にもつながるよう、またボランティア活動に対する支援制度の活用などについても検討していくこと。さらに町誌の編纂については、将来に向けて次の世代に引き継いでいくために、歴史文書の保存、管理をしっかりと行い、近い将来に向けて準備しておく必要があるとお答えいたしました。

また、件名2「学校給食について」の学校給食費の一部無料化については、学校給食費の補助以外の施策についてもさらに充実させていく必要があり、子育て支援や学校教育の充実も含め、総合的見地から考えていく。

給食費の一部補助については、税収が減額となる見込みとなる中でも、実施している他の自治体をしっかりと調査し、検討していきたいと町長が答弁しておりました。

8 ページをお願いします。

次に、川島 広 議員の件名 2 「英語教育について」は、本町の小学校の英語教育とその指導方法、英語教員の英語力の向上、外国語指導助手の採用方法、また児童生徒のコミュニケーション能力の向上についてのご質問でございました。

本町の英語教育の現状を説明し、毎日の英語学習の導入や教員の英語力向上のための研修会の実施、外国語指導助手の採用方法について、さらに調査研究を進めていくとお答えいたしました。

英語教育を含めた児童生徒のコミュニケーション能力の向上については、「言葉の力」、自分の考えや思いを生言葉でやりとりすることを学校教育の場で重視していきたい、また社会教育、生涯学習の場でも「言葉の力」を活かしたコミュニケーションの場をつくっていききたいとお答えいたしました。

以上、第 5 回議会定例会の報告とさせていただきます。

報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質問なし)

ないようですので、日程第 4 その他ですが、事務局からはないようですが、委員さんから何かございますでしょうか。

高倉委員 先日町民マラソンが行われましたが、大人の走行距離が実際と違うのではないかと、お話を伺いましたが、どうなっておりますでしょうか。

関本課長 以前は公道を走っていましたが、数年前からパナソニック内を走っております。主催は体育協会とスポーツ振興事業団となりますので確認します。

秩父委員 公益財団法人 大泉町スポーツ文化振興事業団理事として私からも話しておきます。

國井教育長 パナソニックの敷地の一辺は 1 km と聞いておりますが、確認をしたいと思います。

それでは、本日の教育委員会議は以上といたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

平成 3 1 年 1 月 2 8 日

署名 教 育 長

署名 教育委員

署名 教育委員

